

# 企業訪問

不況はチャレンジのチャンス！ 創業者の言葉を胸に、次世代が先を争い飛び込んでくるような

## 職場環境作りを！

丸和繊維工業株式会社 代表取締役社長 深澤隆夫さん



受注量も一気に影響してしまおうというリスクを目的にしたりし、大手頼り一辺倒から脱却して客先の間口を広げていかねばと、たとえ小規模でもきちんと特徴や哲学をもった得意先を増やそうと営業活動が続けてきました。まさに量から質への転換です。量を追わずに利益重視の経営に舵を切ったわけですが、社内のマインドチェンジはそう簡単ではありませんでした。

我々メーカーは工場をしっかりと稼働させていかなければなりません。でも季節商品を取り扱っているわけですからどうしても繁閑の波があります。それまでの営業スタイルでは、閑散期には安く受注しても工場の稼働が優先という意識が勝っていました。しかし工場に支払う加工金額の8割近くは人件費です。自分たちに売る力がないのに、仲間である工場のスタッフの給料の元、加工金額を下げるなん



TOKYO KNIT のロゴ。江戸の武士がはじめたメリヤス作りを発端としていることから、TとKで家紋と兜をイメージしている。

であってはならない。この考えを徹底して共有するため、全社員対象に毎月行っている早朝勉強会の場などを使い、原価構造、そして自分の考える付加価値の3要素、機能価値、感性価値、信用の磨き方をしつこく話し続けてきました。量から質への抜本的転換ですから、思想の統一を行いつつ、少量生産対応型への設備投資や、中国工場の閉鎖なども進めていきました。

まだまだ途上ではありますが、利益重視へのマインドが定着し、体質が変わってきたことにより、今回のコロナ過を何とか乗り越えてこれたのではないかと思っています。  
**不況だからこそ、好況時にできないことにチャレンジ。未来のある業界に！**

これはコロナ以前の取り組みです

——二〇一四年秋号にご登場いただいた前回は動体裁断等の技術についてお聞きしました。今回は、コロナ禍の対処等をお聞きします。

先の全く見えないコロナ禍は、本当に大変でしたね。ただその影響は比較的軽微で済んだ方もかもしれません。

先。当社は創業以来、大手アパレル向けを主体に太いパイプで商売を続けてきたのですが、2008年にそのうちの1社が倒産し、大きな打撃を受けました。

大手に頼っていたら、利益率の改善もなかなか難しく、何かがあると

が、墨田区の同業者、丸安毛糸さんの仲介で車椅子を利用して方向性のジーンズを1年半ほどかけて開発しました。完成後、山形県でのパラアスリートカーニバルで大勢の障害を持った方々に試着して頂きました。生まれて始めて履くジーンズに皆さん大変喜んで下さって、その時の笑顔があらためてファッションの力や可能性を教えてくれました。そのような経験も踏まえ、今回のコロナ過でも社員たちによるいくつものチャレンジが生まれました。車椅子ジーンズから発展させたテレワーク用ウェアワークパンツ、若手社員プロジェクトから生まれたこだわりタンクトップ、ボタンナナチームの開発したおもしろい笑おうマスクなど。商売としての大小と

いうより、そうした社員発信のチャレンジを、非常に頼もしく感じていました。番外編ですが、暗い世の中での雰囲気を感じて、女性社員からの希望で業務用の椅子をバランスボールに変えたりもしました。

——本所は、鉄と繊維の街とも謳われて久しい昨今。今後の業界の取り組み等をお聞かせください。

ファッション業界、特に製造現場においては深刻な人手不足など課題も多く、確かに厳しい状況にはありますが、私たちが作った服から沢山の笑顔をもたらせる素晴らしい業界でもあります。でも一方では製造現場にいます。良いもの、求められているものを作って当たり前で、万ミスをするとクレームを受ける。あまり褒められることがない。

ですから素晴らしいものづくりをしているスタッフが、直接お客様からこれ良いね、素晴らしい仕事だねって褒めて頂く経験をさせたい、そういう思いから当社の一階のショップでは、実際に製造に携わっていたスタッフが運営し、直接お客様と接して販売しています。お客様の笑顔がものづくりの現場に連鎖する、そしてさらにいいものを作りたいたって思える流れを作

### 女将の一言！

ファッションの仕事は、着る人の笑顔が作り手も笑顔にする！  
こんな素敵な仕事はない！と  
笑顔でおっしゃってくださいました。  
墨田区の、そして東京の日本の繊維業界の  
これからの指針になる言葉とと思いました！



撮影/菅沢健治

### 丸和繊維工業株式会社

1956（昭和31）年肌着の生地メーカーとして創業後、縫製に着手。OEMメーカーとして事業を拡大させた。2010（平成22）年、自社製品が宇宙船内活動服に採用される。翌年その経験を活かし、服を着ている感覚をさせない唯一無二な着心地を実現したオリジナルブランド、INDUSTYLEを立ち上げる。2023（令和5）年1月経済産業省選定の「次代を担う繊維産業企業100選」にも選ばれている。

墨田区亀沢1-8-6  
Tel.03-3624-6611  
<https://maruwa-tex-ind.co.jp>

上げていかなければならないと思っています。TKFでは、大石元理事長がスタートさせたTOKYO KNITプロジェクトに取組んでいます。これはまさに東京産地の高付加価値のシンボルとしてのブランドデザインです。微力ながらメイドインジャパンのプライドを価値に変え、業界全体の明るい未来に向け邁進していく所存です。